

平成25年度

第1回 滋賀県渋滞対策協議会

『地域別における対策の対応方針（案）』

地域別(大津・草津地域)における対策の基本方針について(案)

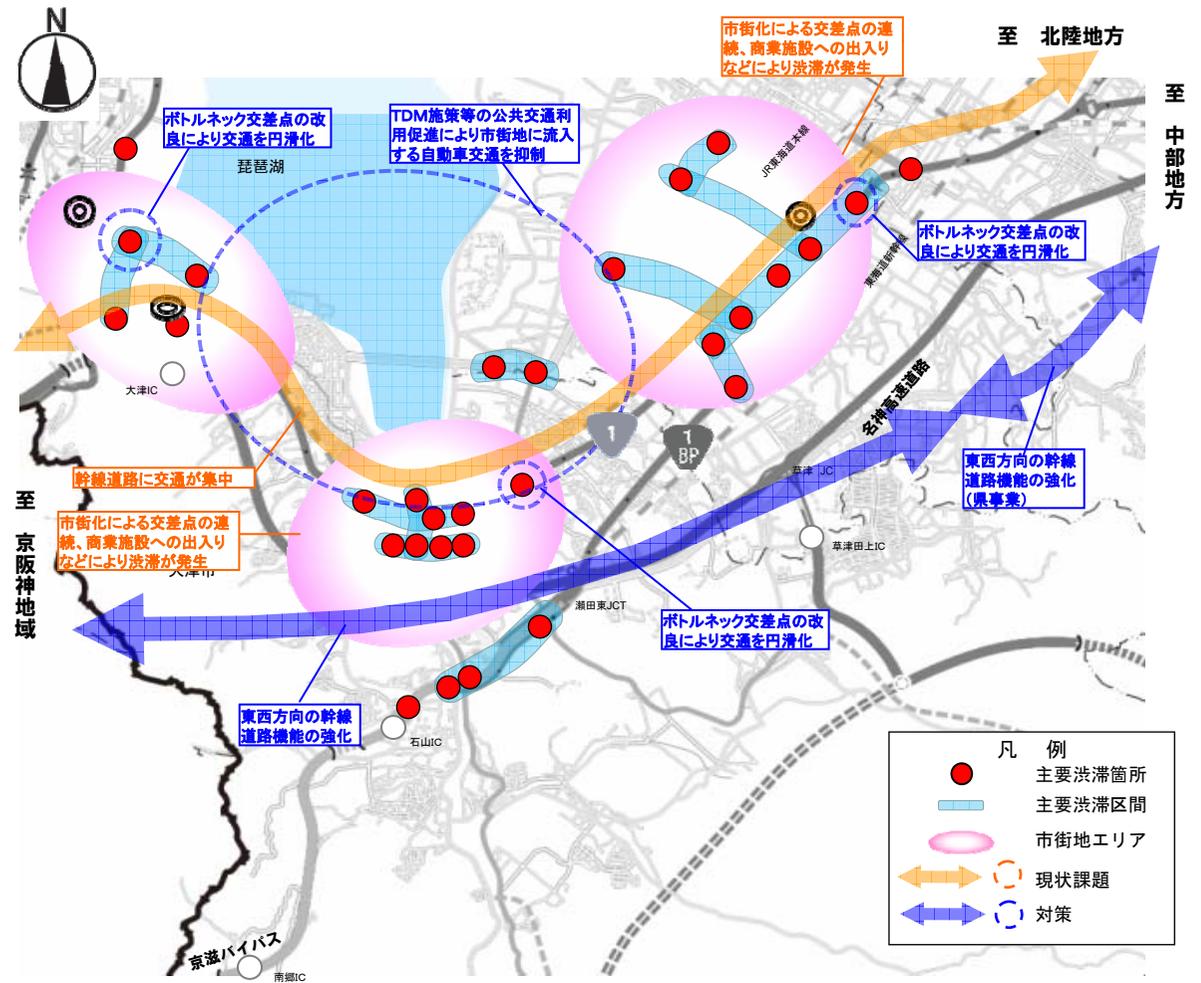
1. 大津・草津地域の概況

	概要
地域特性及び道路交通状況	(地域特性) ・大津・草津地域は、琵琶湖岸の狭隘な平野部に市街地が広がる滋賀県の中心都市である他、京阪神地域のベッタウンとして発達し、人口が増加傾向している。 ・また、幹線道路の沿道には商業施設が多数立地している。
	(道路交通状況) ・主道路として2車線しかない国道1号に物流などの通過交通とともに、周辺市町からの通勤・業務交通が集中し、市街地の発達により交差点が連続することや、沿道の商業施設への出入りによる交通阻害が要因となり、朝夕の交通集中時に渋滞が発生 ・さらに、主道路の渋滞を迂回する車両により、市街地内の街路においても交差点を要因とした渋滞が発生している。

2. 方向性

	概要
総合対策等	・ボトルネックとなる交差点の改良により交通を円滑化。 ・TDM施策等の公共交通利用促進により市街地に流入する自動車交通を抑制 ・バイパス整備等の東西方向の幹線道路機能の強化により、交通量の拡大や通過交通の転換を図り、国道1号の負荷を軽減

3. 大津・草津地域の主要渋滞箇所と現在の対策等



基本方針

- バイパス整備等の幹線道路機能の強化により、交通容量の拡大及び通過交通の転換を図る等、渋滞軽減への取り組みを推進してまいります。

地域別(甲賀周辺地域)における対策の基本方針について(案)

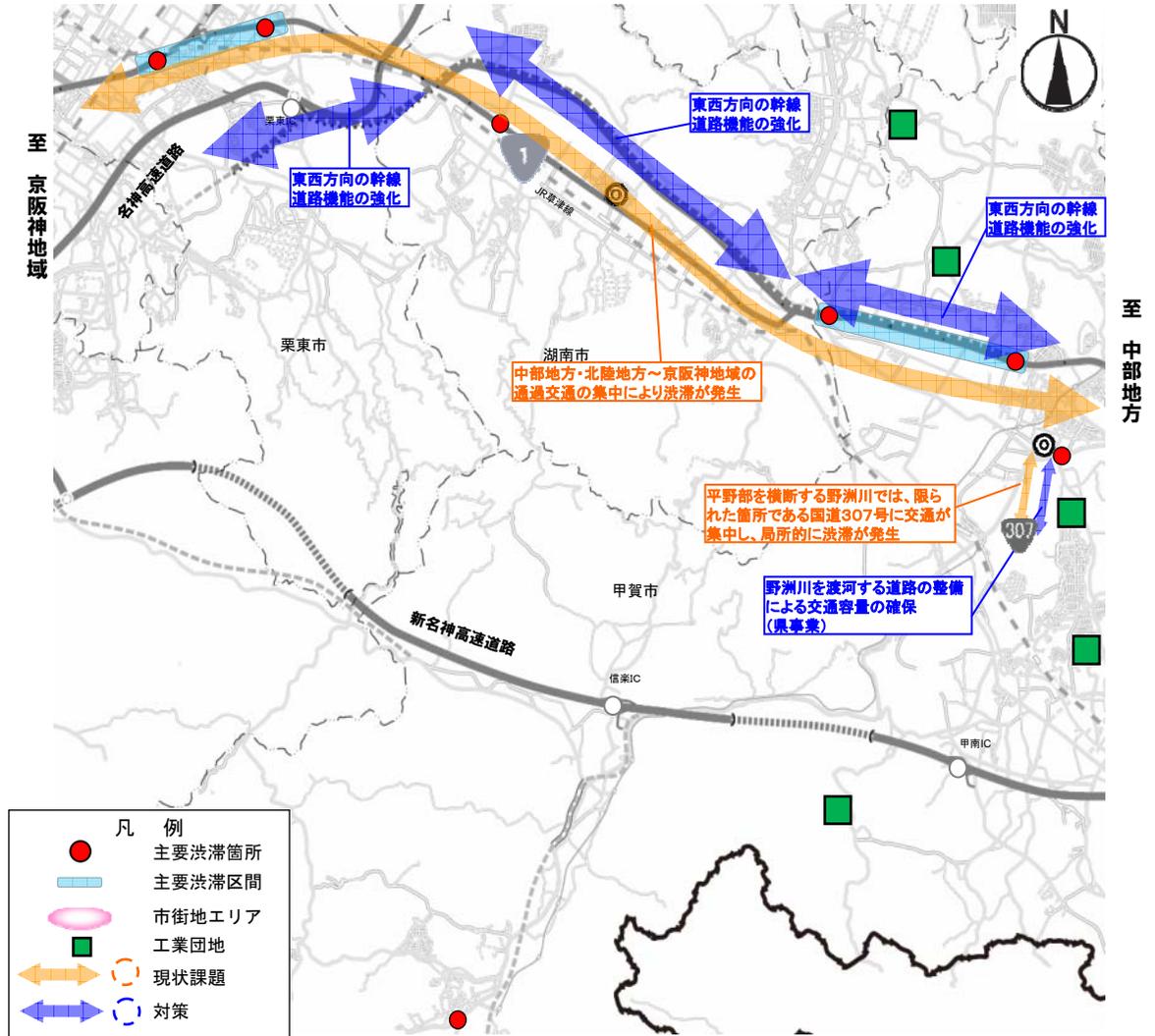
1. 甲賀周辺地域の概況

	概要
地域特性及び道路交通状況	<ul style="list-style-type: none"> ・(地域特性) ・甲賀周辺地域は、国道1号沿道に市街地があり、自然が広がる地域でもある。 ・一方、国道1号、新名神自動車道のアクセス性のよさを活かして、工業団地が数多く立地し、滋賀県内で製造品出荷額が1位となる工業地域である。 ・(道路交通特性) ・主道路としては、2車線しかない国道1号に広域物流などの通過交通とともに、工業団地などを発着する交通と、地域内の内々交通を要因として、ボトルネックとなる交差点で渋滞が発生している。 ・野洲川を渡河する国道307号の橋梁部では、周辺地区からの集中する交通を要因として、局所的に渋滞が発生している。

2. 方向性

	概要
総合対策等	<ul style="list-style-type: none"> ・バイパス整備等の東西方向の幹線道路機能の強化により、通過交通の転換を図り、国道1号の渋滞交差点の負荷を軽減 ・野洲川を渡河する道路の整備による交通容量の確保

3. 甲賀周辺地域の主要渋滞箇所と現在の対策等



基本方針

■ バイパス整備等の幹線道路機能の強化し、交通の転換による国道1号の渋滞交差点の解消を図るほか、野洲川を渡河する新たな道路を整備するなど地域内道路の渋滞軽減への取り組みを推進してまいります。

地域別（湖西地域）における対策の基本方針について（案）

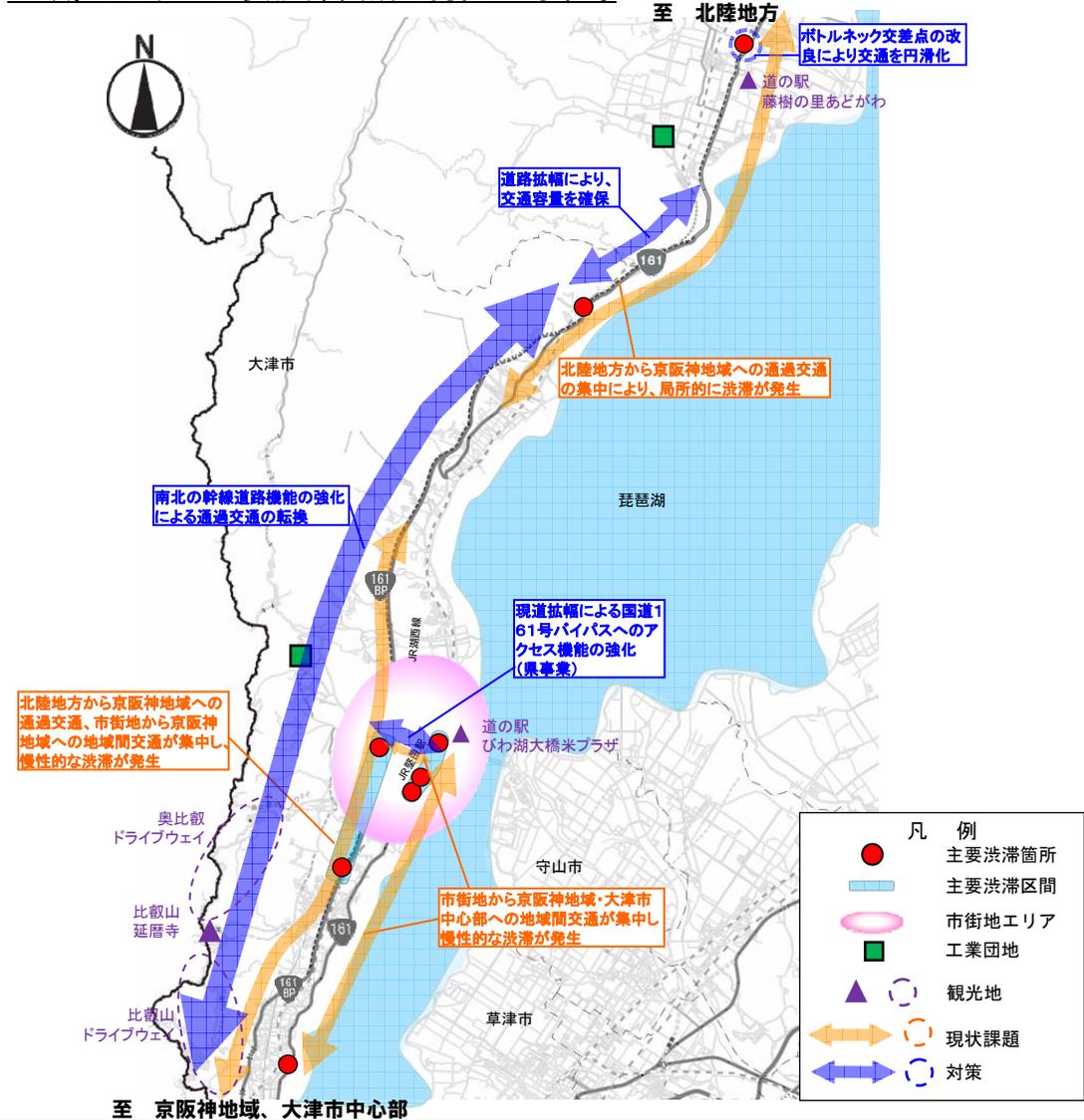
1. 湖西地域の概況

	概要
地域特性及び道路交通状況	<p>（地域特性）</p> <ul style="list-style-type: none"> 湖西地域は、琵琶湖と比叡山地の間の狭隘な地域に市街地が広がり、南部のJR堅田駅周辺では、土地区画整備事業が進み、大津市中心部、京阪神地域のベッドタウンとして発達し人口が増加している。 また、比叡山延暦寺、比叡山ドライブウェイ等、滋賀県の観光入込客数の上位20位以上の観光地が点在している。
	<p>（道路交通状況）</p> <ul style="list-style-type: none"> 2車線しかない国道161号には地域内の内々交通とともに、休日においては観光交通などが集中する交差点において渋滞が発生している。 また、暫定2車線で供用されている国道161号バイパスは広域物流交通とともに、市街地へアクセスすることを要因として、朝夕や休日の交通集中時に渋滞が発生している。

2. 方向性

	概要
総合対策等	<ul style="list-style-type: none"> ボトルネックとなる交差点の改良により、交通を円滑化 国道161号の道路拡幅により、交通容量を確保 国道161号バイパスの道路拡幅により、南北方向の幹線機能を強化し、国道161号の負荷を軽減 車線拡幅、現道拡幅によるバイパスへのアクセス機能を強化。

3. 湖西地域の主要渋滞箇所と現在の対策等



基本方針

- 国道161号バイパス等の幹線道路を拡幅することによる交通容量の拡大を図るとともに、市街地の交通集中部においては幹線道路へのアクセス機能を強化するなどの渋滞軽減への取り組みを推進してまいります。

地域別(野洲・栗東周辺地域)における対策の基本方針について(案)

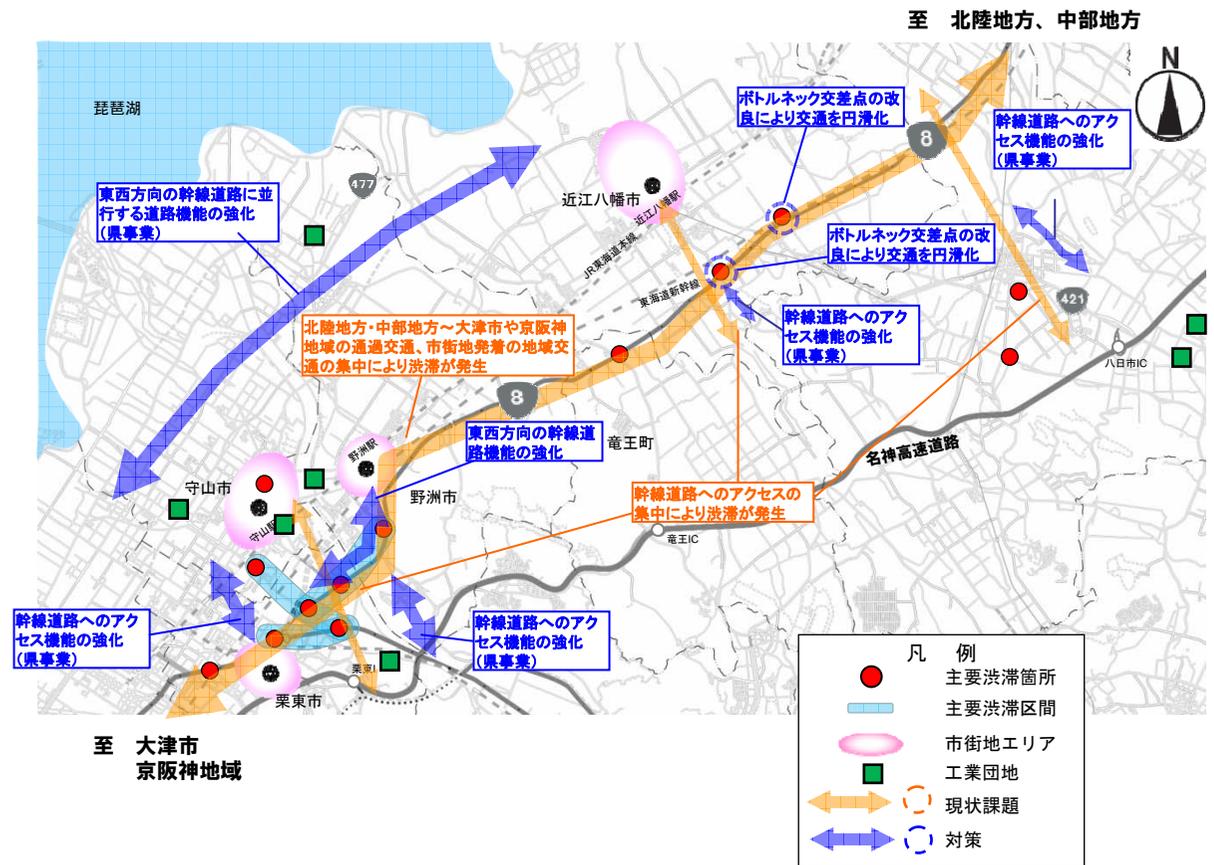
1. 野洲・栗東周辺地域の概況

	概要
地域特性及び道路交通状況	(地域特性) ・野洲・栗東周辺地域は、滋賀県の中心都市である大津市のベットタウンとして人口が増加しており、JR東海道本線の主要駅や市役所周辺に市街地が構成され、工業団地も点在する地域である。
	(道路交通状況) ・主道路としては、2車線しかない国道1号と8号に広域物流などの通過交通とともに、周辺市町からの通勤・営業などの交通を要因として、朝夕のラッシュ時に交差点において渋滞が発生している。 ・また、それら渋滞を迂回する車両が狭隘な住宅地内を通過し通学などに不安を与えている。

2. 方向性

	概要
総合対策等	<ul style="list-style-type: none"> ・ボトルネックとなる交差点の改良により、交通を円滑化 ・東西方向の幹線道路機能の強化により、通過交通の転換を図り、国道8号の負荷を軽減 ・東西方向の幹線道路に並行する道路機能の強化に国道8号の負荷を軽減 ・幹線道路へのアクセス機能の強化による国道8号の負荷を軽減

3. 野洲・栗東周辺地域の主要渋滞箇所と現在の対策等



基本方針

■ 野洲駅や守山駅周辺の国道8号への交通集中を抑制するため、バイパス整備や市街地内幹線道路を整備を図る他、局所的なボトルネック交差点を改良するなど渋滞軽減への取り組みを推進して参ります。

地域別(彦根市周辺地域)における対策の基本方針について(案)

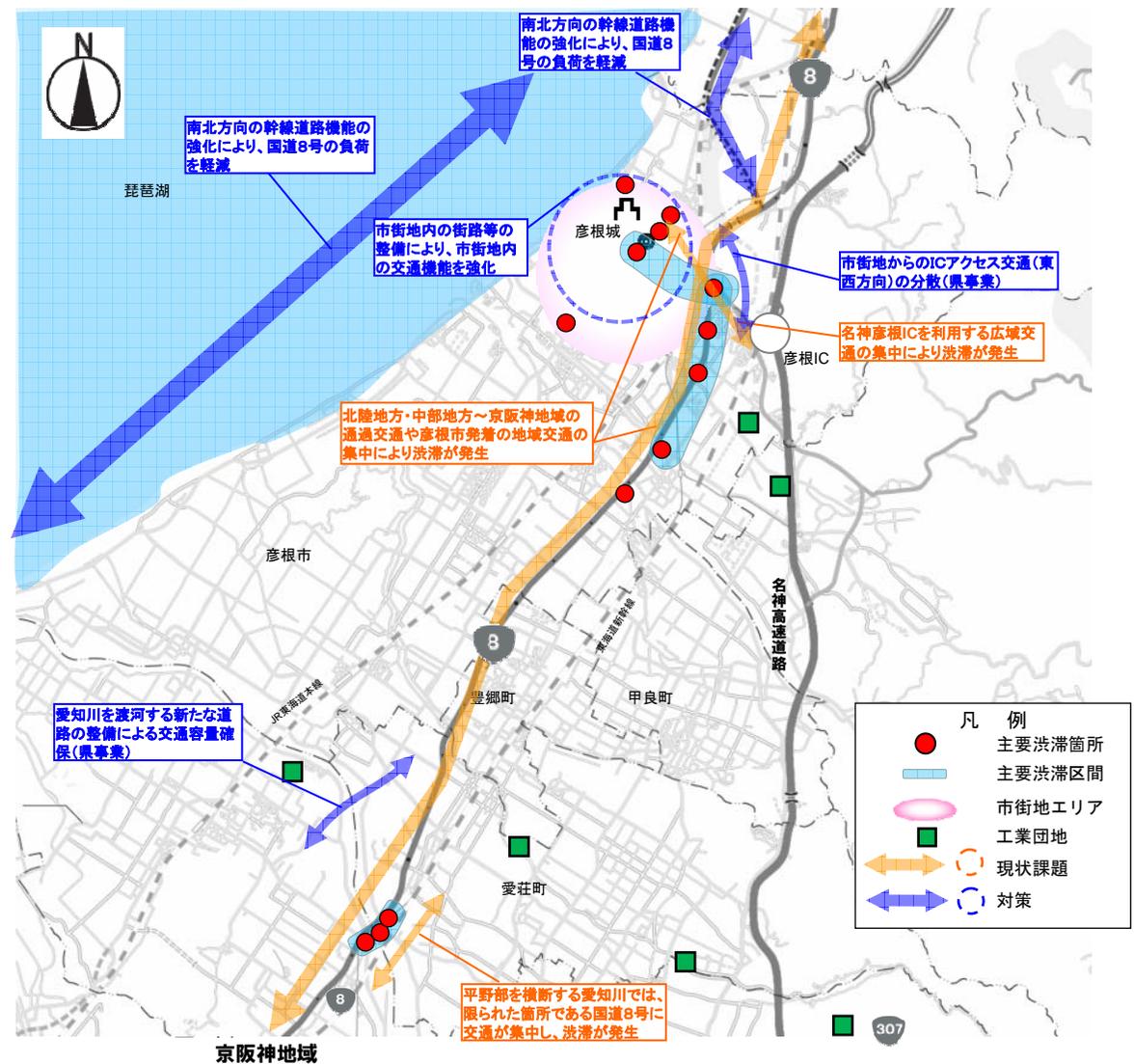
1. 彦根市周辺地域の概況

	概要
地域特性及び道路交通状況	<ul style="list-style-type: none"> (地域特性) 彦根市は、琵琶湖岸の平野部に市街地が発達し、湖東地域の中核都市で彦根城などの観光地があり、年間約360万人を迎え入れる観光都市である。 さらに、工業団地や商業施設が立地するなど、都市機能も集積している。 (道路交通状況) 主道路としては、2車線しかない国道8号に広域物流などの通過交通とともに、彦根市街地内を発着する通勤・営業などの交通を要因としたアクセス交通が集中する交差点部において慢性的な渋滞が発生している。 愛知川を横断する数少ない国道8号の橋梁部に周辺市町から集中する交通を要因として朝夕のラッシュ時に渋滞が発生している。

2. 方向性

	概要
総合対策等	<ul style="list-style-type: none"> 彦根市街地から名神彦根ICへ直接アクセスできる都市計画道路(原松原線)の整備により、東西方向に流動する交通を分散 市街地内の街路等の整備により、市街地内の交通機能を強化 南北方向の幹線道路機能の強化により、国道8号の負荷を軽減 愛知川を渡河する新たな道路の整備による交通容量確保

3. 彦根市周辺地域の主要渋滞箇所と現在の対策等



基本方針

- バイパス整備等の幹線道路機能の強化により、交通容量の拡大及び通過交通の転換を図る他、彦根市街地内の街路機能強化や愛知川を渡河する道路を整備する等の取り組みを推進していきます。

地域別(長浜・米原地域)における対策の基本方針について(案)

1. 長浜・米原地域の概況

	概要
地域特性及び道路交通状況	<p>(地域特性)</p> <ul style="list-style-type: none"> 長浜・米原地域は、湖北地域の中核都市として、琵琶湖岸の平野部に、JR北陸本線の主要駅、市役所周辺に市街地が発達している。 また、長浜IC周辺を中心に工業団地が立地している。 <p>(道路交通状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> 長浜市街地内を発着する交通が、限られた経路で国道8号や彦根ICに集中する要因により、ボトルネックとなる交差点で渋滞が発生している。 また、国道8号バイパスにアクセスする道路に交通が集中する要因により、局所的に交差点において渋滞が発生している。

2. 方向性

	概要
総合対策等	<ul style="list-style-type: none"> ボトルネックとなる交差点の改良により、交通を円滑化を図る。 市街地内の街路等の整備により、市街地内の交通機能を強化 バイパス整備により、国道8号バイパスへの通過交通の転換により、北進交通に対する交差点負荷の軽減(交差点通過時間短縮)

3. 長浜・米原地域の主要渋滞箇所と現在の対策等



基本方針

- 長浜駅周辺の街路機能の強化や交差点改良等、ボトルネック箇所の解消を図る等、渋滞軽減への取組をすすめてまいります。